塩冶コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

No.205 〔2022年５月25日発行〕

電話/0853-21-0248　Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

塩冶地区の世帯数と人口
令和４年４月末現在

世帯数	7,313世帯
人　口	15,738人
(男)	7,681人
(女)	8,057人

塩冶コミュニティセンターの運営について 2022年度
～心と心がつながるまちに～

１．実践目標
- １）塩冶のよさを活かし魅力あるまちを作ろう
- ２）町内会との連携を大切にして住みよいまちを作ろう
- ３）健康と体力づくりを推奨し健康寿命をのばそう
- ４）青少年の健全育成に努めよう

２．事業について
- １）５専門部会の事業の充実を図る
- ２）各種団体の自立支援を行う
- ３）各種団体・町内会との連絡調整を行う
- ４）地域の情報を大切にするとともに適切な情報発信に努める
- ５）貸館は、出雲市の規定のもとで地元を優先して実施する

３．明るい職場づくり
- １）来館者に笑顔で適切な対応ができるようにする
- ２）職場の衛生環境・美化に努める
- ３）職員相互の協同を大切にする
- ４）報告・連絡・相談を大切にし、常に情報の共有化を図る

新年度のスタートにあたって

センター長　加　茂　慎　二

平素より、塩冶コミュニティセンターの活動にご支援ご協力をいただきありがとうございます。令和４年度を迎え、地域の活動も始まりました。

コミュニティセンター事業も左のような目標や計画を立てました。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止を基本としながら常に安心安全を心に置いて活動していきたいと思います。よろしくお願いします。

今年も桜がきれいに咲きました

塩冶コミュニティセンター組織図

塩冶コミュニティセンター運営委員会
①予算・事業の企画及び実施の方針の審議・決定
②職員の採用について運営協議会に推薦

コミュニティセンター事業委員会
事業企画実施機関
（委員長：センター長　委員：専門部）

専門部代表（敬称略）	女性部	ボランティア部	青少年部	シルバー部	まちづくり部
	板倉由利子	飯國　彰二	小田川　幸	吉川　明義	原　俊夫

職　員
- センター長　加　茂　慎　二
- チーフマネジャー　児　嶋　早智江
- マネジャー　錦　織　静　江／小　村　志　保／野　井　ちなつ／山　内　浩　子／福　間　卓　也
- 自治協会雇用　矢　田　幸　憲

令和4年度 各団体役員のご紹介（敬称略）

塩冶自治協会	会　長	板倉啓治
塩冶体育協会	会　長	板倉一郎
塩冶地区社会福祉協議会	会　長	中尾一彦
塩冶地区民生委員児童委員協議会	会　長	山口史子
塩冶地区人権・同和教育推進協議会	会　長	矢田幸憲
塩冶地区交通安全対策協議会	会　長	飯國重良
塩冶地区住みよいまちづくり推進協議会	会　長	佐藤一郎
出雲市消防団塩冶分団	分団長	立脇　務
塩冶地区土木委員会	委員長	矢田光夫

塩冶コミュニティセンター教室案内

下記の教室案内をしています。

教室名	活動日	活動時間
アレンジフラワー教室	第４火曜日	午後8:00～10:00
塩冶いきいきUP健康クラブ	第２・４木曜日	午後1:30～2:30
池坊生花 ひるの部	第２・４水曜日	午前9:00～11:00
塩冶キッズ３Ｂ体操	第１・３金曜日	午後3:30～5:00
太極拳塩冶教室	第１・３月曜日	午後2:00～4:00
えんや健康サークル	第１・３水曜日	Aグループ 午前 9:30～10:20 Bグループ 午前10:50～11:40
出雲フラウエンコール	第２・４土曜日	午後1:30～3:30
えんや写真教室	第２水曜日	午後1:30～3:30
塩冶書道教室	第１・３金曜日	午前9:30～11:30
茶道教室（不昧流不昧会）	第１・３月曜日	午後1:00～4:00
塩冶卓球同好会	第１・３月曜日	午前9:00～12:00
水墨画教室	第２日曜日	午後1:30～3:30
塩冶木彫教室	第１・３火曜日	午前9:30～12:00
銭太鼓クラブ	第２・４日曜日	午後7:30～9:00
おたっしゃ体操～いきいき会～	第１・３火曜日	午後2:00～3:00
ちぎり絵教室	第３木曜日	午後1:00～4:00
陶芸教室	第２月曜日	午前9:00～午後4:00
ホビークラブ（パソコン教室）	第２水曜日	午後1:30～4:30
俳句教室 塩冶ヤカナ吟社	第２月曜日	午後1:30～4:00
ＹＯＭ（読む）の会	第４木曜日	午前10:00～12:00
パソコン	第１・３木曜日	午後4:00～6:00
和裁教室	第２・４月曜日	午後1:30～3:30

見学・入会希望の方は塩冶コミセンに問い合わせいただくと、代表者を紹介いたします。

活動紹介！

いつもありがとうございます。地域の皆さんがボランティア活動をしてくださっています。

交通安全運動

春の全国交通安全運動が４月６日（水）～１５日（金）にありました。

塩冶地区では塩冶地区交通安全対策協議会が中心となり、地区内５ヶ所で街頭指導を行いました。

神戸川一斉清掃　４月24日（日）

国土交通省出雲河川事務所からの呼びかけで、塩冶自治協会と塩冶地区土木委員会の皆さんが神戸川一斉清掃を行いました。当日は、家族で参加される方もおられ、行政や事業所関係者を合わせると100人を超える方が参加されました。

神戸川沿いと斐伊川・神戸川放水路沿いの両岸を三つのグループに分かれて回り、集めたごみの内容は缶やたばこの吸い殻などのポイ捨てから布団やテレビなどの不法投棄まで多様でした。清掃時間は１時間でしたが、早朝から参加していただいた参加者の皆さん、ありがとうございました。

塩冶地区 交通指導員・青色防犯パトロール隊

～いつもお世話になり、ありがとうございます～

日頃、登下校時に児童・生徒たちの横断指導や見守りなどをしていただいている交通指導員と青色防犯パトロール隊の皆様。今回は、大塚昌雄交通指導員と佐藤一郎隊長にお話を伺いました。

交通指導員とは

- 各地区の交通安全対策協議会会長が推薦した人を市長が指導員として委嘱しています。
- 任期は２年。再任は妨げません。
- 特別職地方公務員ではなく、民間ボランティアです。

交通事故予防のため気をつけてほしいこと

- 歩行者は横断のときは手をあげましょう。
- 歩行者は暗くなったら夜光反射材をつけましょう。
- 自転車は左側を走りましょう。
- 車両は歩行者の安全確保。交差点の出合い頭は特に注意しましょう。

交通指導員 大塚さんの話

塩冶地区では３名（坂本 均さん、池田則雄さん）でこんな活動をしています。

- 登下校時の児童・生徒の横断指導・安全確保
- 高校駅伝や大学駅伝など出雲市のイベントの出動
- 古志祭りなどお祭りの交通整理
- 春・秋の全国交通安全運動、夏の交通事故防止運動、毎月１日の交通安全県民の日の街頭活動など

横断指導の様子

青色防犯パトロール隊とは

- 青色の回転灯を装備した自動車を用いて行われる防犯パトロール隊です。
- ボランティア活動のため、ガソリン代や保険代など全て自己負担で活動しておられます。

塩冶地区の皆様へ気をつけてほしいこと

- 横断歩道では歩行者優先。信号がなくても車は止まりましょう。
- 狭い道が多いので車はゆっくり走りましょう。
- 歩行者は車に気をつけて歩きましょう。

隊長 佐藤さんの話

塩冶地区では６名（原 節雄さん、大塚昌雄さん、池田則雄さん、飯國 斉さん、周藤征一さん）でこんな活動をしています。

- 毎月第３金曜日に塩冶コミセンで情報交換をし、見守りパトロールを実施
- 登下校時の児童・生徒の見守り
- 塩冶小学校の防犯教室に参加
- 歳末特別警戒出動式参加後の街頭活動　など

お話を聞き、交通指導員や青色防犯パトロール隊の皆様が、子どもたちをはじめ地域住民の安全を常に考えておられることが分かりました。
いつも地域の安全のため横断指導や見守りをしていただきありがとうございます。

防犯教室の様子

塩冶コミセンにて情報交換の様子

えんや物語

第 13 号
平成14年 2 月発行
塩冶公民館文化部

題字　万代順子氏

今号の『えんや物語』

今からちょうど一〇〇年前、大正十一年に「千秋流」という生花の流派が塩冶に伝わりました。

技が難しく、師がおられなくなったり、他の流派に移る人の影響で伝承が途絶えたりして、塩冶では幻の流派となりました。

今号では、『幻となった「千秋流」』を掲載します。美しい千秋流の写真とともにご覧ください。

幻となった「千秋流」

かって塩冶に「千秋流」という風変りな生花がありました。もう五十年近く前にとだえ、今では伝承されることもなく、塩冶の地では幻の華道となったのです。

「千秋流」は、名古屋市の浄土宗自然院が家元で、現在東海地方を主な活動地域として広まっています。

創流は江戸末期で、遠州流・未生流・池坊などの美点をとり入れて生まれ、撓を得意とした花型はこじんまりとして技巧に凝った気品のある花といわれています。花器も波足の薄端や燭台に似た手のこんだ小振りの銅器で、花型とよく調和がとれていました。

神門寺の第八十六世桑門秀我上人が、若いころ愛知県刈谷市の昌福寺の住職のとき「千秋流」を伝授なさり、号を「假名庵」と称しておられます。これは神門寺の別名「いろは寺」に因んで付けられたのでしょう。後に位の高い和尚さんになられた秀我上人は、生花でも諸国総会頭として「千秋流」の普及に大きな足跡を残しておられます。この「千秋流」が塩冶に伝わったのは、大正十一年に秀我上人が、郷里の神門寺に帰山され、寺門の興隆に盡されるかたわら、末寺の住職や近くの有志を弟子にとって教えられたのが始まりでした。

このときの直弟子は、古志町正法寺・白枝町西光寺の住職や塩冶では四名の方で、「社中取立」となられたと記録に残されています。この時代から昭和初期にかけてがいちばん盛んで、各所で花展も開かれ「千秋流」の評判は近在に広く知られるほどでした。しかし長くは続かず昭和十三年にいたって秀我上人の入寂により師を失い、さらに日中戦争に続く戦時下で、生花どころではなく、次第にさびれていくのも仕方のないことでした。

戦後になってから、揚町内の杉原藤三郎、弓原の長廻千代次郎両氏（故人）の盡力で、花展も開かれるほどになり門人達は復活を喜び合いました。また門人達は後継ぎを育てるために揚・弓原をはじめ遠く般若寺方面まで指導に通われたのです。

そのころの様子を記してみますと…

――孫弟子だった人達の話――

＊「千秋流」は小振りでしたが粋な花でした。この辺では戦後（約五十年前）孫弟子が四、五人いて、家を回りだちで直弟子の方から習いました。技がむずかしくて苦労しました。特に「結び南天」は折れやすい木を曲げながらいくつかの輪を作る方法でしたから大変です。弓原の恵比須さんの祭りには、宇畑さん（今の理髪店）の縁側で花展をしたこともあります。一種活けが多かったようです。凝った花器が多かったので借りては活けましたね。もともと仏様の供華として出発した花だったから気品がありましたが、技がむずかしかったので「池坊」や「小原」などの流派に移った人が多く、今はまったく見られなくなりました。惜しいことです。（宇畑一男・杉原昌良・落合熊雄の三氏談）

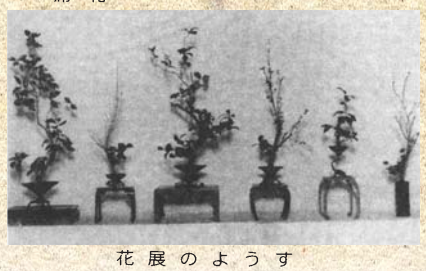
＊五十年位前に、般若寺近辺の者四人が習っていました。揚の杉原さんに月一回ずつ夜に教えてもらいました。花材を山ほど持ってきても使うのは一本か二本だったので、片付けが大ごとでした。花は簡単に見えましたがしない（たわめ）がむずかしくて困りましたね。終ってから師匠さんを囲んで一杯やりながら話すことが楽しみだったから三年位習いました。花は上手になりませんでした。今は誰も活けてはおられんでしょう。（飯国八夫氏談）

いっとき復活したかに見えた「千秋流」も、時の流れ・指導者の高齢化・技のむずかしさ等から昭和三十年ごろを最後にこの地で見ることができなくなり残念でなりません。ただ一人、落合熊雄さんが今なお活け続けておられるのを目のあたりにし、昔を懐かしく思い出しています。

（布野國造）

・暁じ花
・花材／槙柏と小菊　・花型／留流

落合熊雄氏の席札



花展のようす

ご寄贈御礼

新宮一夫さんから、ご自身が出版された本「出雲発！スサノオ　はるかなるこころの旅路」をいただきました。ご寄贈ありがとうございました。

今後の予定

6月　7日（火）廃食油石けんづくり
6月14日（火）ふるさと探訪
6月28日（火）ＥＭボカシ作り
7月　8日（金）エコ小物づくり（布ぞうり）

看板・花設置　～ご入学おめでとう～

4月11日（月）に塩冶小学校で入学式があり、コロナ禍の中少しでも地域からの気持ちを届けたくて看板とお花を置かせてもらいました。130名の児童の皆様ご入学おめでとうございます。

地域イベント中止のお知らせ

第28回 塩冶ふれあいまつり
第74回 塩冶地区体育大会